Publication Number: U1938-17098

Publication Date: 1938.11.7 Applicant: NEC Corporation

Abstract

Wireless transmission apparatus

As depicted in drawings, union of a wireless transmission apparatus comprising a wireless transmitter provided in a space discharge device connected to a transmitting antenna, a rectifier for rectifying power received by a 'pickup' antenna from a 'pickup' antenna near the transmitting antenna and the transmitting antenna, a feedback circuit for controlling the device between a current device and a discharge device, and a member for controlling the discharge device with only a rectifying carrier wave by laterally passing audible low frequency in the feedback circuit.

## 周

## 年和

高周波送信方式

西 昭和十二 昭和十二 一月 七 日(二七八四〇號 風前 日侍

ジャー シー州モン

水利 ル加 ルムデル、クロバル合衆國ニュード 1 ソン

双トリート六5年 亜米利加合衆国 、七番 州紐育市 ブロ

ク ナドシ

'n ツンタ クダー ーナ

結果ヲ生ス若シ無線周波敦勢力ヲ一

定ニ維持スレハ歪曲ハ減少

一層一定トナルへシ

番シ 地ョ

田

**放送及超短波方式ニ於テハ若シ直流勢力ノ變化又ハ他** ヲ調節スヘキ負性饋還囘路ヲ有スル無線送信裝置ニシテ第四圖ハ **送信裝置ヲ示シ第三圖ハ本考案ニ依リ無線周波増輻段** 實用新案ノ性質、作用及效果ノ要領 射勢力ヲ略一定「レベル」ニ維持スルコトヲ望ムモ |曲及騒音ヲ防止スへ **饋還回路** 圖第二圖ハ本考案 ク可聽周波段ヲ制御スル餓還囘路ト放射勢 トヲ有スル無線送信裝置ヲ示スモノナリ 一依ル 無線電話送信機ニ於テハ放 饋還回路ヲ有 ノニシテ又無線 ノ制御電極 原因 ス  $\nu$ 

> 對シテ送信機ノ變調ヲ一定ニ維持スルヲ望ムヲ普通トス若シ無線 デング」ノ研究波角試験等ヲ爲スニ必要ナリ ム」ノ性質ハ改善セラルヘシ 周波數勢力カ變化スレハ其ノ變調率モ亦變化シ歪曲等ノ不所望ナ 短波無線囘路ニ於テハ音聲受入裝置ヨサノ音聲入力ノ一定振幅 的要求以外ニ於テ一定振幅搬送波ノ放射ハ 電界强度測定 「フエー 度計ニ於テハ搬送振幅ノ一定ナルコト特ニ必要ナリ斯ノ如キ商業 **度計等ノ如キ航空誘導方式ハ更ニ信頼シ得へキモノトナル殊ニ高** 傳送搬送波ノ絕對値ニ依賴シ且ツ精確ヲ要スル盲目着陸裝置及高 送波振幅ノ髮化カ除去 岩シ 放射勢力ヲ一定ニ維持シ得 其ノ

超短波電話方式ニ於テハ電話中機器ト 性餓還囘路ヲ供フ出力ヲ制御スル爲ニハ搬送波「エンヴェロープ」 シ若シ直流勢力ノ變化及溫度變化ニ關係ナク送信機ヨリノ出力ヲ ル受信勢力ノ比ハ一定ニシテ送信機ノ放射勢力モ亦一定トナル ハ全ク自動的ニナルヘク此ノ型式ノ同路ニ於テハ送信勢力ニ對 ノ直流分ノミヲ饋還ス 本考案ニョレハ無線送信機ヲ制御シテ放射勢力ヲ略一定ニ保ツ負 一定ニ維持スレハ其ノ結果利得一定ナル無線同路ヲ生スヘシ 同樣 三無線「リン クラブ動作

機ニ接續セル送信空中線ニ接近シ且ツ其ノ射線内ニアル「ピツク、 本考案ニ於テハ通常ノ音聲周波段及無線周波段ヲ有スル無線送信 プ」空中線ノ受理セル搬送波「エ 有スル空間放電裝置ヲ有シ該遮蔽格子上ノ電位ハ「ピック、ア ブ」空中線ヲ備フ一無線周波段ハ制御格子、陽極、陰極、遮蔽格 ングエロ 1 プラ 直流分ニ

ピーダン 送波ノ强サニ従ヒテ可變正性電位ヲ加コ 該三極放電裝置ノ「イム 格子ニュー定ノ負性偏倚ト「ヒツク、アツブ」空中線ノ受理セル搬 接續ス本考案三於ケ サル如ク爲シ症波器ノ時定數ラ一乃至十秒トセリ 一接綴セ 億波器ヲ饋還囘路中ニ接癥シテ晉聲周波數ガ前記進 タル電位ヲ制御スル適當型式ノ電流器ヲ有ス該放電裝置 ラ ス」ハ送信機ノ無線周波段ニ於ケル空間放電装置ノ遮蔽 ル分壓器ノ一部ヲ構成ス抵抗ト聯結セル蓄電器ヲ包 ク、アップ」空中線及前記遮蔽格子間 ル該饋還囘路 ハ三極放電裝置ノ格子上ニ県 **饋遠囘路** 一般ヲ制

本考案ニ於テハ又送信空中線ノ附近ニアル「ピック、アッ 其ノ一饋還囘路へ爰信空中線ヨリ放射サルル出力ヲ制御シ他ノ饋 空中線ヲ饋還囘路ニヨリ無線送信機中ノ無線周波裝置ノ制御電極 更ニ送信空中線 線ヲ整流器ノ中介ナク 直接ニ三極放電裝置ニ接癥シ該放電裝置ハ ニ接續ス饋遠囘路ハ「ピック、アップ」空中線ニ接續セル任意適當 **陂波作用及無線周波裝置ノ遮蔽格子上ノ電壓ニ對スル制御ヲ行フ** ケレ 電位ノ減少ニョリ送信卒中線ヨリノ出力ヲ遞下ス テ無線周波放電裝置ノ遮蔽格子上ノ電位ヲ下降セ <u>ル整流電位へ上昇シテ三極放電裝置ノ「イムピーダンス」ヲ遞</u> 送信空中線ノ放射スル搬送波「エンヴエローブ」カ正規値 セシム猶『ビツク、アツン」空中線ニハ二個ノ饋還囘路ヲ接續ス ハ「ヒック、アップ」空中線ョリ三極放電装置ノ格子ニ與ヘ 整流器ヲ包含シ前記装置ノ制御電極ニ位相反對ナル電位ヲ 電裝置ハ可變增幅率型ナリ競還同路ニハ猛波器ラ ノ附近ニシテ其ノ 射程内ニア ヴエロープ」ノ直流分ニ從ヒラ健遠回 מונ 「ピック、アップ」 シム 遮蔽格 Ź. 路ニョリ 空中 ⋾ y

分ニョ ヲ可トス饋還同路びハ空中線近ノ同路中ノ塞流線輸辺ニ並 子立陽極重陰極重ヲ有シ増幅管ワノ遮蔽格子立上ノ 増幅器①ラ介シテ變調器①ニ接續ス増幅管①ハ制御格子辺遮蔽格 無線周波增幅用空間放電裝置了ヲ有シ送話器(8)ヲ適當ノ可聴周波 結合ス送信機①ハ適當型式ノ發振器で無線周波增幅器⑤變調器で 第一圖二於テ無線送信機(1)ヲ結合濾波器(3)ニョリ送信空中線(2)ニ 還囘路へ昭和十一年特許出願公告第一〇九八號ニ記載アリ ル制御 **窎ハ分歴器窎抵抗豇ト共働シテ濾波器ノ用ヲ** 三極放電裝置这八制御電極回陽極回陰極或沒有必電池或 格子(1) 三加 ナルヲ可ト 整施器追ヲ具備シ該整施器ハ適宜型式ニシテニ極式空間放電裝置 ツク、アッ ル正電位ヲ加 ル電位ヲ制 ス該饋還回路ニ 、アップ」空中線電ニ接續セル負性饋還同路低ニョリ 負性偏倚ヲ與ス整流器返ノ同路中ノ分壓器逐ハ格子図ニ可變ナ ノ瀘波器ハ搬送波「エンヴエロープ」ノ電流分ニョリ放電管理 ハ可聽問波分ニ基ク如ク ル制御ヲ一饋還回路ニョリテ行ハシメ他ノ饋還回路 送信機ノ プ」空中線追ハ送信空中線②ニ接近シ其ノ射程内ニアル 御スルヲ防止シ該濾波器!時定數ハ一乃至十秒程度ナ ヘラルル電位ヲ制御スル分歴器追ノ一部ヲ形成ス 御シ該放電裝置!「イムビーダンス」ハ増幅管別ノ遮蔽 ス該整流器ノ出力ハ三極放電裝置ノ格子⑫ニ加ヘラル ヘテ放電管(B)ノ「イムピーダンス」ラ制御 可聴周波敷段ヲ制御シテ歪曲及騒音狀態ヲ改良 **濾波器ヲ具備シ搬送波「エンヴエロ** 為セリ猶歪曲及骚音ラ制御 為シ音聲周波敷カ放 電壓ヲ ープ」ノ直流 制御 八格子亚 列ナル 二二於ケ ーピッ

分壓器型ノ一區部へ抵抗窓ヲ含:他區部へ 放電裝置運ノ「イムビ

╨窓ニョリ供給シ電池窓ハ陽極区ニ對スル電位ヲ供給スリハ側路蓄電器トナリ放電裝置∑ノ格子頂ニ對スル負性偏倚ハ電リメリス」ヲ合ミ猶該分壓器ハ電池驱及塞流線輪驱ヲ 備フ蓄電器

搬送發振幅ガ正規値ニ達スル迄機績スルでは、150円線では、150円をできる。150円のでは、150円のでは

増加シ送信室中線②ノ出力ヲ増加ス置返ノ「イムピーダンス」ヲ増加ス其ノ爲ニ遮蔽格子①上ノ電位ヲ器返ノ整流電位減少シ装置返ノ格子②上ノ負性電位ヲ増加シ該装該空中線ノ出力ヲ増加セシム卽チ出力カ正規値以下トナレハ整流若シ送信室中線②ノ出力カ減少スレハ饋還同路延ハ反對ニ働キテ

ノ格子漏洩檢波ニョリ整流サルル無線周波搬送波ョリ装置窓ニ對「イムピーダンス」ハ格子窓ニ加ハル電壓ハ制御裝置窓ノ『イムピーダンス」ニ役ヒ變化シ装置窓フリ出力ハ 裝置了ノ「イムピーダンス」値ニ反比例シ 又裝置窓ノニ加ハル電壓ハ制御裝置窓ノ陰極窓ニ接續ス裝置了ノ遮蔽格子①。空中線ョ 直接ニ制御格子窓ニ接續シ放電裝置了ノ遮蔽格子①。三次、東京議論館頭ヲ經テ裝置窓ノ陰極窓ニ接續シ放電裝置でノ遮蔽格子介第二圖ノ無線送信機ハ第一圖ノ夫レト全ク同一ニシテ同樣符號ヲ第二圖ノ無線送信機ハ第一圖ノ夫レト全ク同一ニシテ同樣符號ヲ

直流分ノミニ從ハシム に関連に対して、大力のではないかのではないのではないかのではないかのではないかのではないかのではないかいかいかりのではないないかのではないかのではないかいか

器ヨリ 第三圖ニ於テハ「ピック、アップ」空中線到ヨ 下トナレ 流電流へ増加シテ格子邸邸ニ加フへキ負性電位ヲ供給ス該負性電 働 側通シ且ツ格子超超カ搬送波「エンヴェ 中ニアル塞流線輪頭及分壓器剪ニ並列ニ整流器頭ヲ接續シ該分壓 聽周波增幅器愈ハ送話器00ヲ變調器④ニ接續シ電池愈ハ裝置④受 + 放電裝置驱變調器巫無線周波增幅器亞紐送信卒中線亞ヲ有ス可 變増幅幸型三極放電裝置④ニ接續セル發振器弩放電裝置④ニ 周波送信機鐚ノ可變増幅真空管ノ制御電極ヲ調節ス送信機窒ハ可 回路ハ位相制御力逆ニナレルコト以外ハ第一圖ノ同路ト 制御セラル 格子超越上二負性偏倚ヲ與フ「ピツク、アップ」空中線到ノ同路 | ク送信空中線電!放射勢力カ増加スレハ整流器電!供給 ハ送信空中線砲ノ出力ヲ減少ス若シ該空中線ノ出力カ正規値以 | 裝置④⑤ノ格子瓰⑤ヲ制御スヘク饋還セシム低周波電流 ハ逆ノ作用ヲ生ス へキ時間的制御ヲ與フル爲ニ蓄電器飽ヲ備フ第三圖 ロープ」ノ直流分ノミニョ y 同様ニ スル整

射出力ヲ制御スル飮還囘路及騷音及歪曲ヲ修正スヘク可聽周波段第四圖ノ囘路ハ第三圖ニ示セルト同様ナル無線送信機ヲ示スモ放

| 符號ヲ附シタリ|| ヲ制御スル補助饋還回路ヲ備フ第三圖第四圖共ニ同機部みニ同様





